

2023年2月22日
一般社団法人日本鉄鋼連盟
標準化センター事務局

2022年度 原料規格三者委員会 議事録（案）

1. 日 時 : 2023年2月22日（水）16:00～17:20
2. 場 所 : ハイブリッド会議（対面：鉄連第2会議室/Web：Teams）
3. 出席者：（敬称略）
 - 委員長 尾島（東京理科大学）
 - 副委員長 田中（東京理科大学）
 - 委員 木原（伊藤忠）、伊藤（英）（海外貨物検査）、錦織（神戸製鋼）、厚東、森川（JFE スチール）、堤（謙）（住友商事）、矢野（双日）、稲角（東京大学）、山田（日本製鉄）、堤（紳）（日本規格協会）、木幡（丸紅）
 - 欠 席 八田（三菱商事 RIM ジャパン）、日下（三井物産）
（委員長・副委員長・委員計13名）
 - 関係者 富永、伊藤（実）（経済産業省）
（関係者計2名）
 - 幹 事 坂橋（鉄鋼連盟）
 - 事務局 寺澤、井田、楠野（鉄鋼連盟）
（事務局計4名）

4. 議題と配布資料

4.1 審議事項

- 1) 前回議事録案の確認
資料 1-2 2021年度 原料規格三者委員会議事録（案）
- 2) 制定審議
 - 資料 2 JIS M 8210-1 鉄鉱石－コバルト定量方法－
第1部：2-ニトロソ-1-ナフトール抽出分離吸光光度法
 - 資料 3 JIS M 8210-2 鉄鉱石－コバルト定量方法－第2部：原子吸光分析法
 - 資料 4 JIS M 8230-1 鉄鉱石－ビスマス定量方法－
第1部：鉄抽出分離よう化物吸光光度法
 - 資料 5 JIS M 8230-2 鉄鉱石－ビスマス定量方法－第2部：鉄抽出分離原子吸光
分析法
- 3) 改正審議
 - 資料 6 JIS M 8211 鉄鉱石－化合物方法－カールフィッシャー滴定法

資料 7 JIS M 8709 鉄鉱石－サンプリングの偏りを調査する実験方法

資料 8 JIS M 8711 鉄鉱石焼結鉱－落下強度試験方法

資料 9 JIS M 8720 鉄鉱石－低温還元粉化試験方法

3) 廃止審議

資料 10 JIS M 8210 鉄鉱石－コバルト定量方法

資料 11 JIS M 8230 鉄鉱石－ビスマス定量方法

4.2 報告事項

1) 資料 1-1 2022 年度 第 1 回原料規格三者委員会名簿（報告）

2) 資料 1-3 原料 JIS 制改正中長期計画（報告）

5. 議事内容及び結果

委員会成立の確認：委員数 15 名に対し出席委員数 13 名で過半数を満たしており、委員会が成立。

会議に先立ち、会議資料の確認及び前回会議以降の委員変更の紹介があった。

新委員： 森川委員（JFE スチール、丸岡委員から交代）

尾島委員長の Teams のアクセスに不具合があり、開始当初に田中副委員長が代行され、以下の議事が進められた。JIS M 8230-2 の審議まで、田中副委員長が議事を進行され、JIS M 8211 以降の審議から尾島委員長となった。

5.1 幹事から前回議事録の報告がなされた。

前回議事録は、会議後に既に回付されており、特に異議がなく承認された。

5.2 幹事から、原料関連 JIS 制改正中長期計画について報告された。

5.3 制定 4 件、改正 4 件及び廃止 2 件について、鉄鋼連盟の事務局より制改正/廃止内容の説明がなされ、質疑応答がなされた。審議内容及び原案修正点は、規格ごとのコメントテンプレートに記載された。

いずれも審議結果を原案に反映することとして承認された。

改正規格 4 件の資料 6-9 の各 1 頁目（申出時の経過報告書と同一内容）の記載（1. 制定/改正の別）に誤りがあり、席上で、制定→改正、と修正された。

5.4 その他

幹事から、2023 年度の原料規格三者委員会として年 1 回開催する予定であることが説明され、暫定の候補日 2 月 22 日（木）が挙げられた。

正式日程は、委員長と相談の上、別途連絡することになった。

以上